

名古屋大学における



GakuNin RDM

スタートアップガイド

GakuNin RDM へのログインから
OneDrive との接続まで

概要

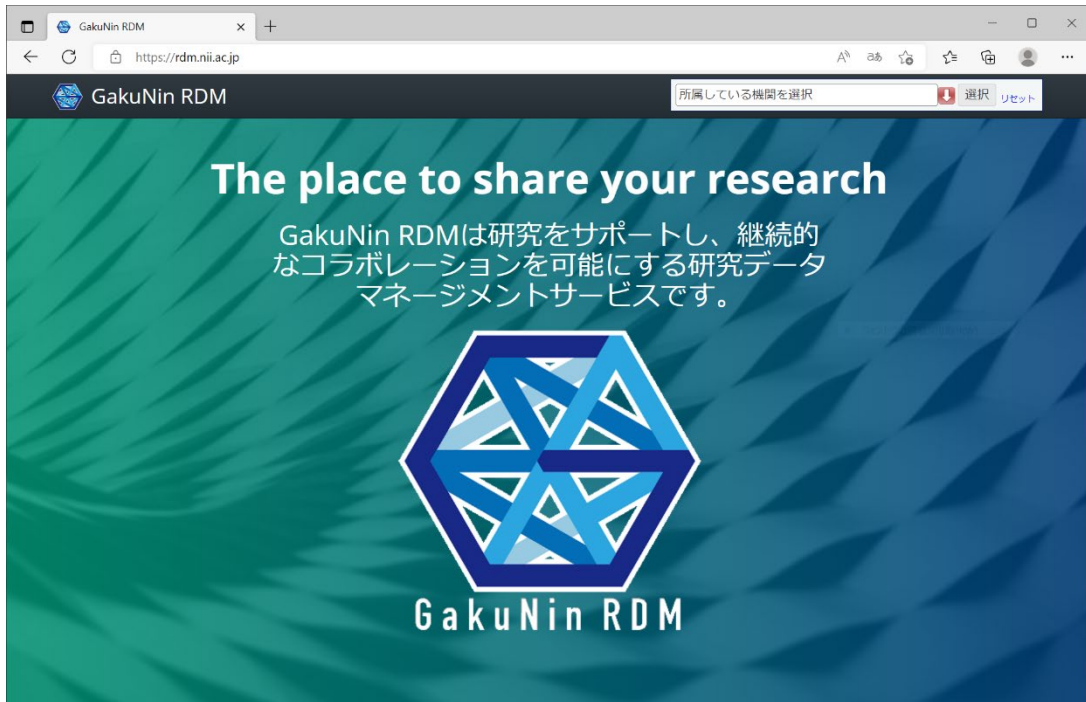
本手引では、名古屋大学において GakuNin RDM を用いて研究データ管理を行うための環境準備について説明します。本手引は以下の手順に従って説明をします。

1. GakuNin RDM へのログイン
2. OneDrive と GakuNin RDM の接続
 - 研究データの保管場所として OneDrive を使用するため、GakuNin RDM と接続する方法について説明します。

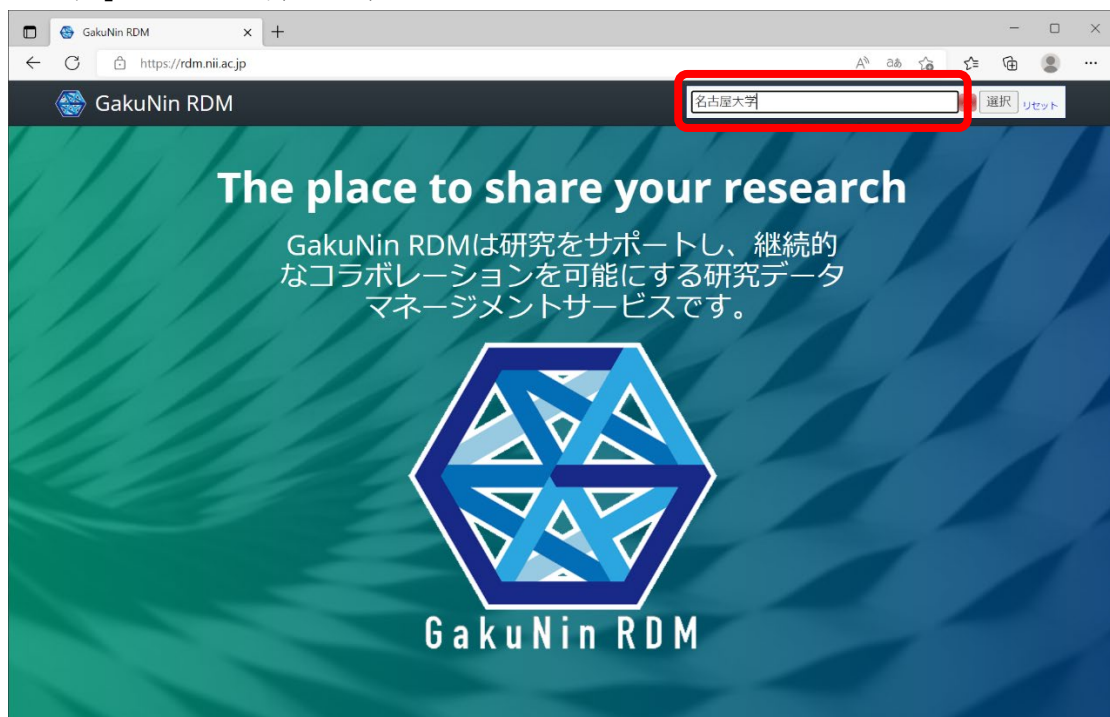
1. GakuNin RDM へのログイン

GakuNin RDM を使うためのログイン手順を説明します。

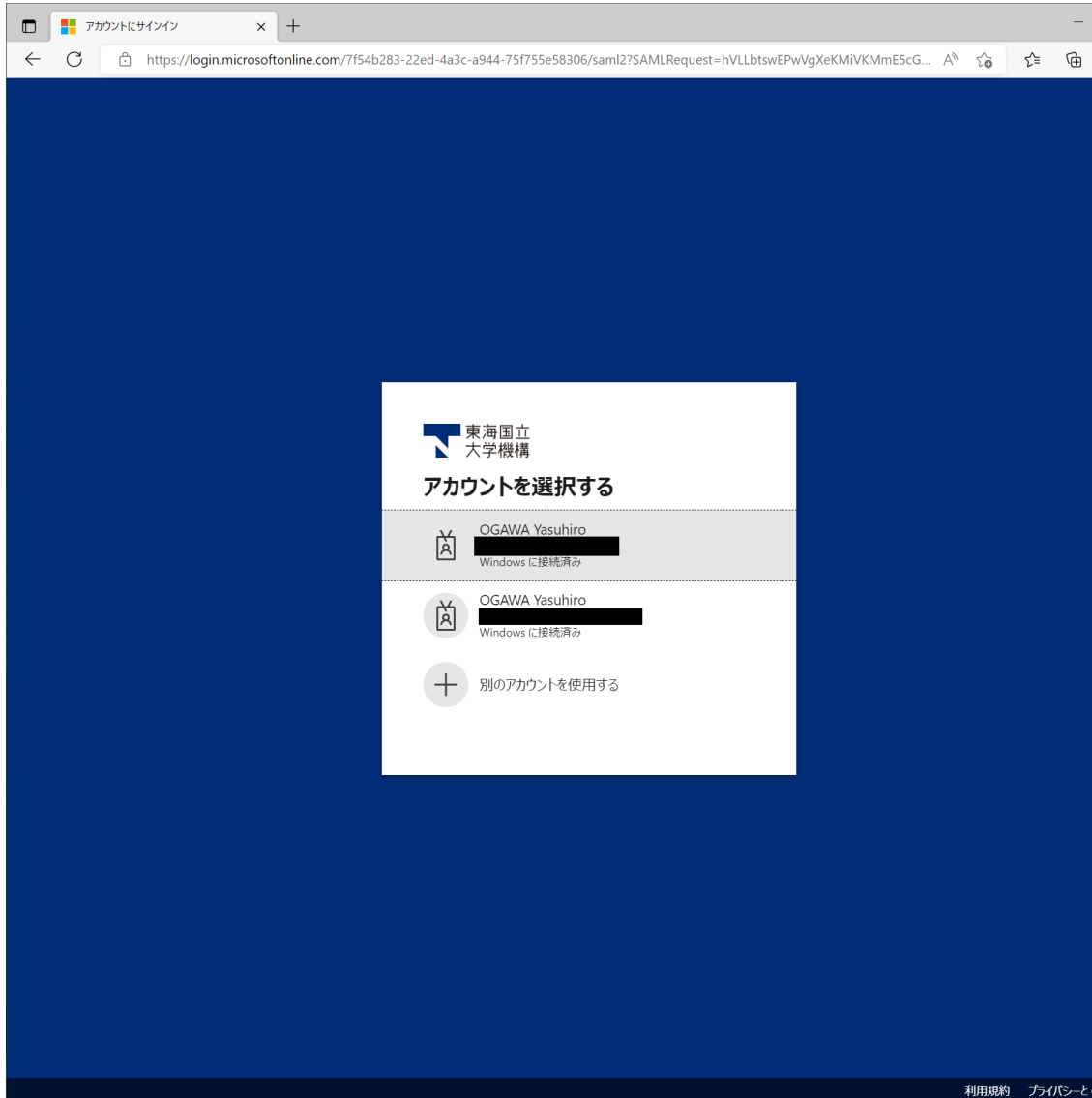
1. GakuNin RDM (<https://rdm.nii.ac.jp>) にアクセスします。



2. 右上の「所属している機関を選択」に「名古屋大学」を入力し、「選択」ボタンを押します。




3. 名古屋大学の認証ページに遷移するので、遷移先のページで認証します。認証は、東海国立大学機構のアカウント（ab.12c.3456@f.thers.ac.jp の形式）を使用します。



4. GakuNin RDM へ送信される情報についての同意事項を選択し、「同意」ボタンを押します。


送信属性の選択 x +

← ↻ https://shib.nagoya-u.ac.jp/idp/profile/SAML2/Redirect/SSO?execution=e1s3 🔍 ☆ 🏠 👤 ⋮



NAGOYA UNIVERSITY

Information Release



GakuNin RDM

あなたがアクセスしようとしているサービス:
GakuNin RDM アカウント管理サービス / GakuNin RDM アカウント管理サービス

サービスから提示された説明:
GakuNin RDM アカウント管理サービス

- サービスに関する追加情報
- サービスのデータプライバシー情報

サービスに送信される情報

表示名
OGAWA Yasuhiro

プリンシパルID
[REDACTED]@nagoya-u.ac.jp

続行すると上記の情報はこのサービスに送信されます。このサービスにアクセスするたびに、あなたに関する情報を送信することに同意しますか？

同意方法の選択:

次回ログイン時に再度チェックします。
今回だけ情報を送信することに同意します。

このサービスに送信する情報が変わった場合は、再度チェックします。
今回と同じ情報であれば今後も自動的にこのサービスに送信することに同意します。

今後はチェックしません。
すべての私に関する情報を今後アクセスするすべてのサービスに送信することに同意します。

同意

拒否

Copyright (C) 2022 Nagoya University ICTS. ALL Rights Reserved.

5. プロフィールの設定画面に移動します。必要な情報を入力してください。



6. ダッシュボードへの移動は画面左上の「GakuNin RDM」をクリックします。



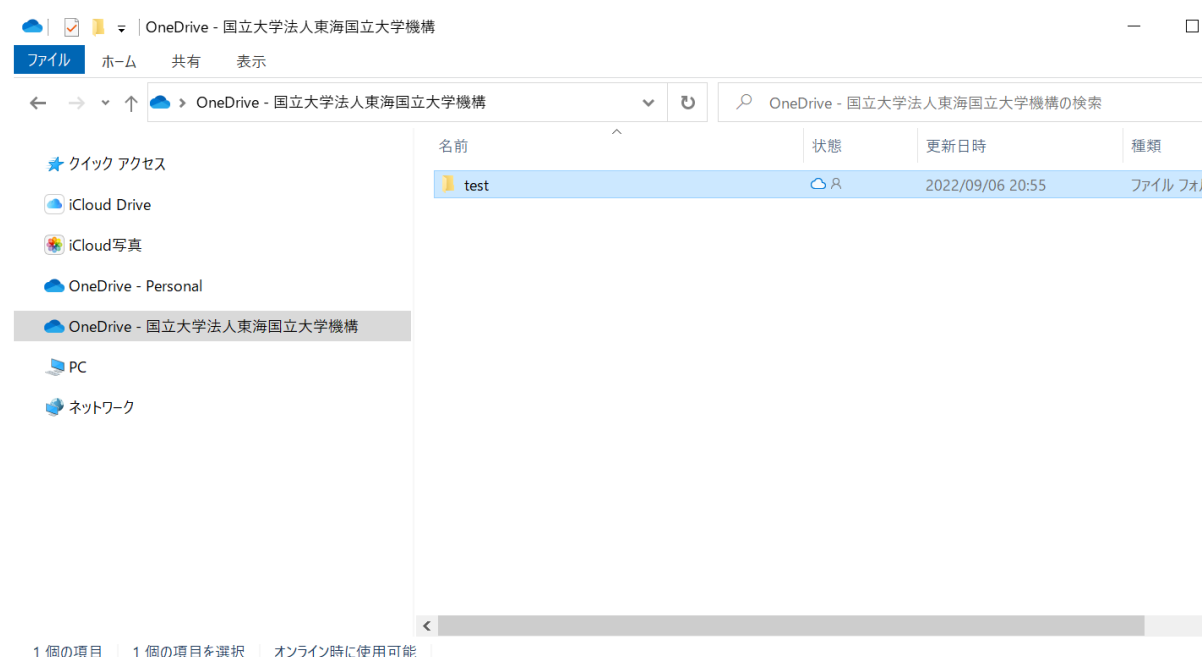
2. OneDrive と GakuNin RDM の接続

GakuNin RDM で OneDrive のストレージを使用するための準備手順について説明します。GakuNin RDM では NII のストレージを使用することもできますが、通常は機構アカウントで利用可能な Microsoft 365 の OneDrive を使用して下さい。

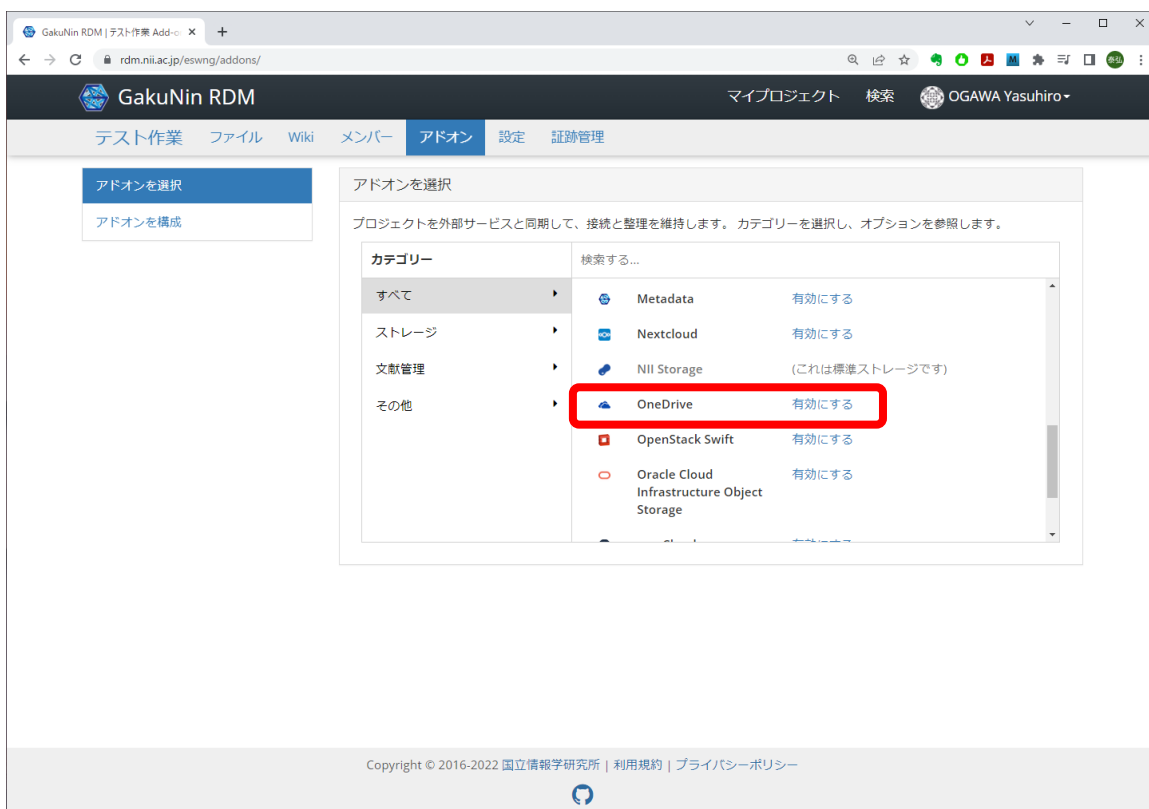
下の図にある「OneDrive - 国立大学法人東海国立大学機構」が見えている方は、そのまま以下の説明にお進み下さい。見えていない方は、[こちらのページ](#)の下にある「OneDrive デスクトップアプリの設定」の説明を参考に、機構アクセスの OneDrive が見えるようにして下さい。



1. GakuNin RDM で使用するフォルダを作成します。今回は「test」という名前で作成しています。プロジェクトごとに異なるフォルダを用意するのがお薦めです。



- 次に、プロジェクトにストレージを紐付ける方法について説明します。プロジェクトの作成方法については[オンラインマニュアル](#)をご覧ください。まず、プロジェクトのページにアクセスします。
- 「アドオン」のページへ移動します。「アドオンの選択」の欄から「OneDrive」を探し出し、「有効にする」と書かれている場合は、「有効にする」をクリックします。



4. アドオン規約が表示されます。確認の上、「確認」ボタンを押します。

The screenshot shows a web browser window with the URL `rdm.nii.ac.jp/eswng/addons/`. A modal dialog box titled "OneDrive アドオン規約" (OneDrive Add-on Agreement) is displayed in the center. The dialog contains a table with two columns: "機能" (Function) and "ステータス" (Status). Below the table, there are two bullet points and two buttons: "キャンセル" (Cancel) and "確認" (Confirm).

機能	ステータス
権限	GakuNin RDMプロジェクトを公開または非公開にする設定は、OneDriveのプライバシー設定とは独立しています。GakuNin RDMはリンクされたOneDriveフォルダの権限を変更することはありません。
ファイル/バージョンの閲覧/ダウンロード	OneDriveファイルとそのバージョンはGakuNin RDM経由で閲覧/ダウンロードできます。OneNoteファイルはエクスポート不可で、ダウンロードも閲覧もできません。
ファイルの追加/更新	GakuNin RDM経由でプロジェクトのファイルを追加/更新すると、OneDriveにも反映されます。
ファイルの削除	GakuNin RDM経由で削除したファイルは、OneDriveでも削除されません。
ログ	OneDriveアドオン設定に加えられた変更の履歴はGakuNin RDMに記録されますが、OneDriveコンテンツへの変更の履歴は記録されません。
フォーク	プロジェクトやコンポーネントのフォーク時、OneDriveの認証はコピーされません。ただし、プロジェクトをフォークするユーザーが、フォーク元のプロジェクトでOneDriveアドオンを承認したユーザーと同一である場合はコピーされます。

- このアドオンにより、GakuNin RDMプロジェクトは外部サービスに接続されます。このサービスを利用することで、それら外部サービスの利用規約に拘束されます。GakuNin RDMは、それらサービスまたはユーザーによるその利用に対して責任を負いません。
- このアドオンにより、外部サービスを使ってファイルを保存することが可能となります。このアドオンに追加されたファイルは、GakuNin RDM内には保存されません。

キャンセル 確認

5. 「アドオンを構成」内の OneDrive 行の末尾にある「プロフィールからアカウントをインポート」をクリックします。

The screenshot shows the GakuNin RDM interface. The top navigation bar includes 'テスト作業', 'ファイル', 'Wiki', 'メンバー', 'アドオン', '設定', and '証跡管理'. The 'アドオン' tab is active. The main content area is titled 'アドオンを構成' and contains a table of add-ons. The 'OneDrive' row is highlighted, and a red box highlights the link 'プロフィールからアカウントをインポート' at the end of the row.

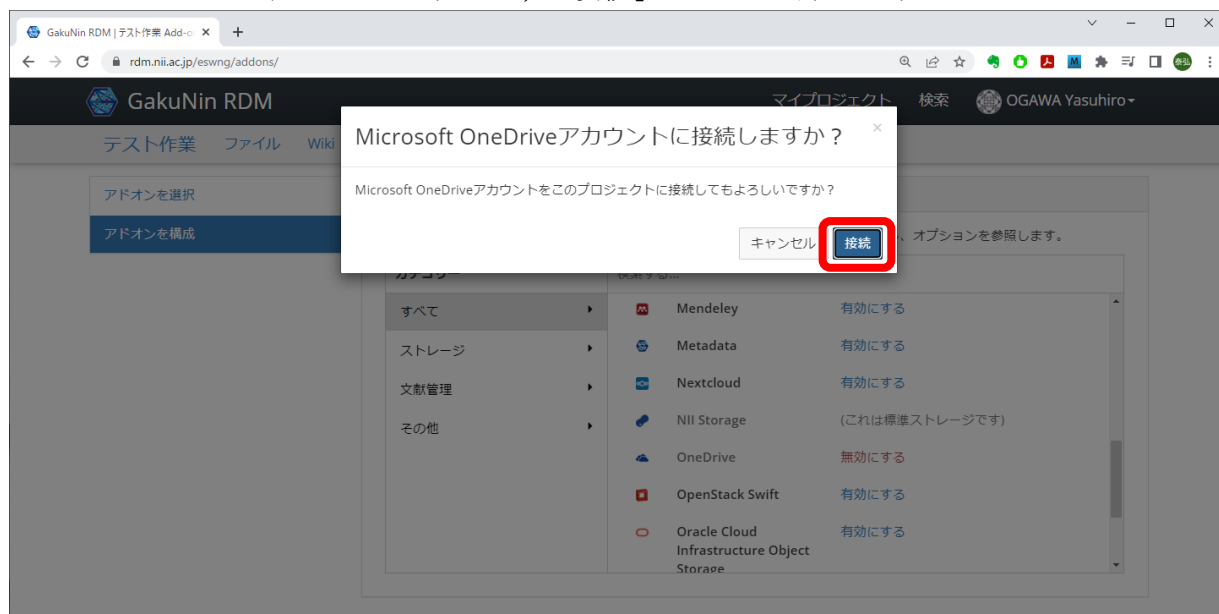
カテゴリ	検索する...
すべて	Mendeley 有効にする
ストレージ	Metadata 有効にする
文献管理	Nextcloud 有効にする
その他	NII Storage (これは標準ストレージです)
	OneDrive 無効にする
	OpenStack Swift 有効にする
	Oracle Cloud Infrastructure Object Storage 有効にする

アドオンを構成

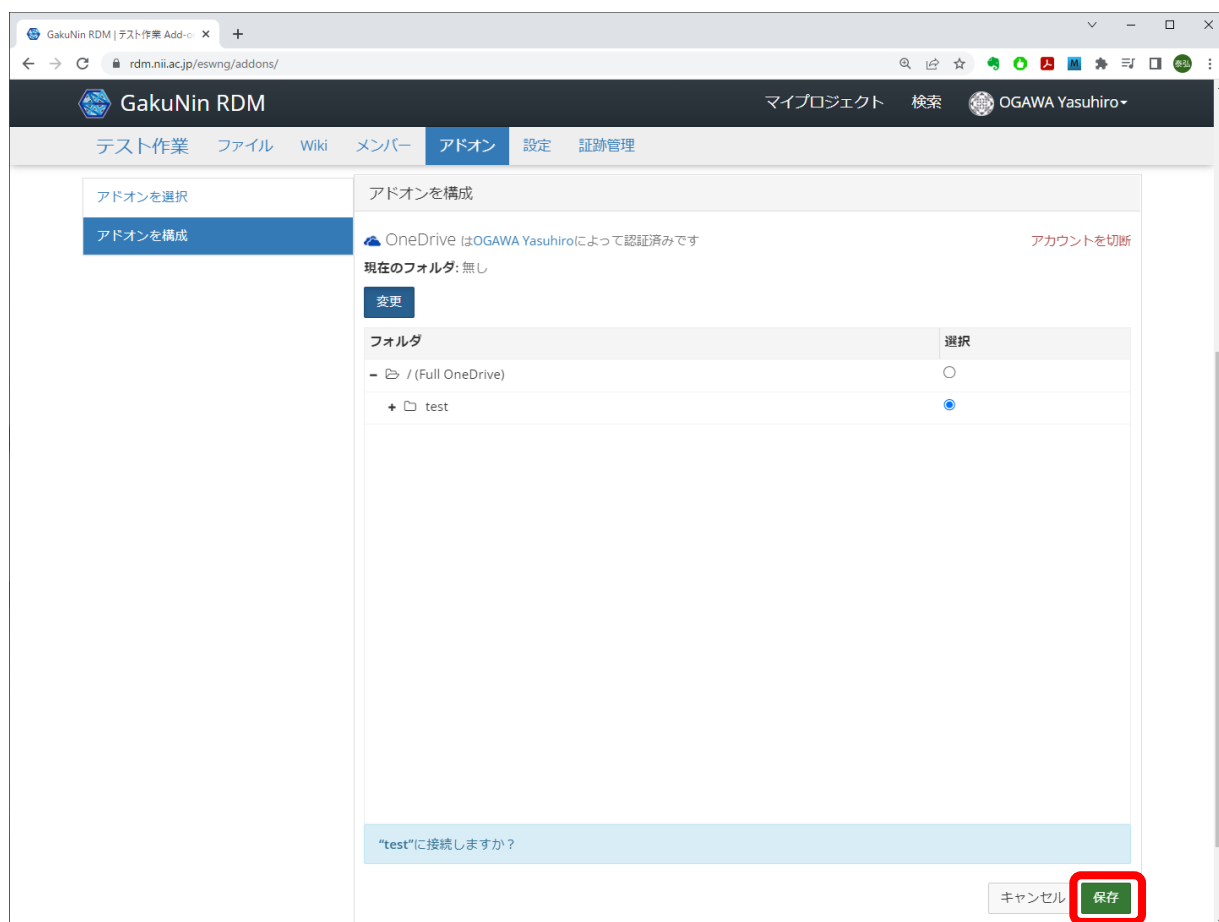
OneDrive [プロフィールからアカウントをインポート](#)

Copyright © 2016-2022 国立情報学研究所 | 利用規約 | プライバシーポリシー

6. ダイアログが表示されますので、「接続」ボタンを押します。



7. OneDrive 内のフォルダが表示されますので、プロジェクトのファイルを置く場所を選択します。場所の選択は「選択」下のラジオボタンにより行います。最下部の「保存」ボタンを押して確定します。



8. プロジェクトの Files に行くと、先程選択したフォルダが紐付けられていることが確認できます。これで、ファイルをストレージに格納する準備ができました。

名古屋大学における GakuNin RDM スタートアップガイド

作成元：名古屋大学 情報連携推進本部 研究データマネジメントプロジェクト

2019年 12月 19日 初版

2020年 11月 20日 第2版

2021年 9月 8日 第3版

2023年 1月 20日 第4版

2023年 3月 28日 第4.1版

編集担当者履歴

- 2021～2022年度：小川泰弘（情報基盤センター）
- 2020年度：駒水孝裕（情報基盤センター）
- 2019年度：小川泰弘，駒水孝裕（情報基盤センター）